

病院長就任のご挨拶

北野病院 病院長

吉村 長久

田附興風会医学研究所北野病院に多大なご支援をいただきまして有り難うございます。平成 28 年 9 月 1 日付で北野病院院長に就任しました吉村長久です。私は昭和 52 年に京都大学を卒業後、天理よろづ相談所病院にレジデントとして就職しました。当時は総合内科医を目指していましたが、ある白血病患者に発生した合併症診療をきっかけに眼科に転科し、神戸市立中央市民病院、米国留学、大津赤十字病院を経て、平成 7 年から信州大学眼科教授、そして、平成 16 年から平成 28 年 3 月までは京都大学眼科教授として 20 年余り教授職を務めてきました。平成 28 年 4 月からは北野病院院長代行として北野病院にお世話になっていました。



約半年間、北野病院に勤務させていただいて、北野の良いところ、良くないところがいくつか見えるようになってきました。北野病院は自治体病院や赤十字病院のような「上部構造」を持たない、全く独立した病院です。従って、意思決定が迅速に行える反面、外部からの情報が入りにくく、閉じた社会になりやすい弱点を持っています。職員がこのことを良く理解して日々の業務に携わることが重要であると思います。

幸いなことに、北野病院は患者さんから一定の評価をいただいています。また、藤井前院長の強いリーダーシップで行われた救急医療の重視は着実な成果を生んでおり、以前にも増して地域から信頼される病院となっています。北野病院のこの立ち位置が変わることはありません。チーム医療を更に高いものにして行くこと、良い医師を育てること、全ての職員が自らの仕事に誇りを持つとともに、北野病院で働いて良かったと思えるような病院にして行くことなど課題は尽きません。いずれの課題も簡単には達成できるものではありませんが、一つ一つ着実にできることから前に進んで行きたいと考えています。

皆様のご支援なしに北野病院がより良い病院に育っていくことはできません。是非、お力添えをいただき、今以上に地域から信頼され、地域に貢献できる病院になるように微力ながら全力を尽くすつもりです。何卒、宜しくお願い申し上げます。